

課題

エアの元圧異常で設備が停止する

- 設備が散発的に停止する
- 設備停止後、現場へ確認に行くとエア圧は回復している

原因箇所がわからない

- どこでエア圧が下がっているかわからない
- 過去のデータを遡って確認したい

ParaRecolector 導入

従来

設備がエア元圧異常で散発的に停止

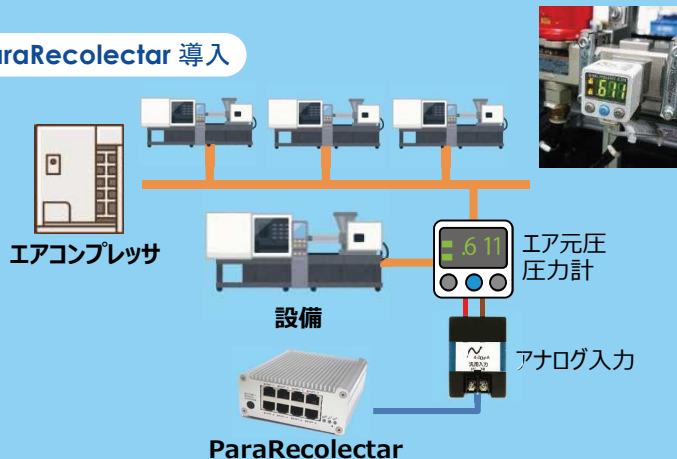


問題発生時の情報がわからない
(従来の圧力計は瞬間値のみの表示)



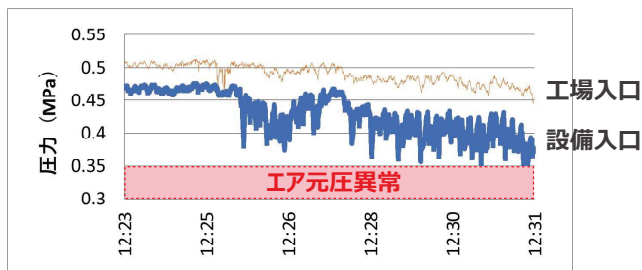
原因の追求と改善に手間がかかる

ParaRecolector 導入



みえる化

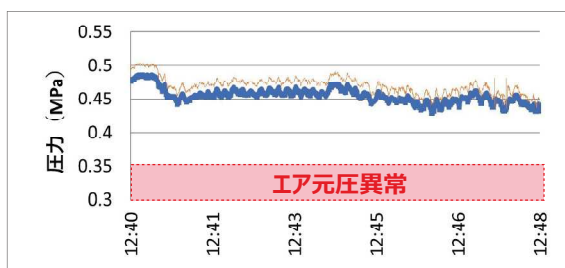
元圧異常発生時のデータがみえた



従来の圧力計は瞬間値のみの表示であったが、ParaRecolector はデータの波形が確認できるため、問題発生時にどのような状況であったかが見えるようになる。

改善

配管レイアウトと配管径の見直しを実施！



収集データをもとに調査を行ったところ…
生産ライン稼働時に設備のエア元圧が低下しており、
エア供給元からの配管容量に問題があった。
配管レイアウトと配管径の見直しを行い、問題が解決した。

効果

■ 問題原因の特定 ▶ 改善活動の推進

■ 測定工数 1日測定 480分 → 30分 (取付) ▶ 95%減